

## 東洋史専攻分野科目

授業科目	講義題目	単位	担当教員氏名	曜日・講時	平成30年度以前入学者 読替先授業科目
東洋古代中世史特論Ⅰ	六朝政治史の諸問題	2	川合 安	前期 金曜日 4講時	
東洋古代中世史特論Ⅱ	六朝貴族制の諸問題	2	川合 安	後期 金曜日 4講時	
東洋古代中世史特論Ⅲ	中国中世の喪葬と礼制	2	江川 式部	後期集中 その他 連講	
東洋近世史特論Ⅰ	清朝の外藩モンゴル統治の諸 問題	2	岡 洋樹	前期 水曜日 4講時	
東洋近世史特論Ⅱ	清末近現代中国の統治構造研 究	2	水盛 涼一	後期集中 その他 連講	
東洋史学研究演習Ⅰ	明清官僚制度研究Ⅰ	2	大野 晃嗣	前期 水曜日 5講時	
東洋史学研究演習Ⅱ	明清官僚制度研究Ⅱ	2	大野 晃嗣	後期 水曜日 5講時	

科目名：東洋古代中世史特論 I / Ancient and Medieval History in Asia(Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 金曜日 4 講時

Semester：1 学期 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LM15403, 科目ナンバリング：LGH-HIS601J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：六朝政治史の諸問題

2. Course Title (授業題目) : Issues of the Political History of the Six Dynasties Time

3. 授業の目的と概要：中国の六朝時代（魏晉南北朝時代、220～589 年）は、秦漢古代帝国の崩壊をうけて、新たな国家秩序構築の模索が行われた時代であった。講義では、この時代の政治史の推移を分析し、当時を生きた人々の政治的社会的活動や思想などの具体相を浮かび上がらせることを試みる。中国史における六朝時代の特質について理解を深めることを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course covers the political history of the Six Dynasties time (220-589) to help students understand the characteristics of the Six Dynasties time in Chinese history.

5. 学習の到達目標：六朝時代の政治史の流れとその特質を理解し、興味をもった論点について論じることができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students discuss the characteristics of the political history of the Six Dynasties time.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

講義形式で行い、第 2 回目以降、毎回課題を課す。

- 1、序論（六朝時代の概略）
- 2、後漢末の政治
- 3、三国・魏の政治
- 4、西晋の政治
- 5、東晋の政治
- 6、東晋末の政治
- 7、劉宋の政治
- 8、南斉の政治
- 9、梁の政治
- 10、陳の政治
- 11、北魏前期の政治
- 12、北魏後期の政治
- 13、東魏・北斉の政治
- 14、西魏・北周の政治
- 15、総括

8. 成績評価方法：

第 2 回目以降毎回の課題によって評価する。

9. 教科書および参考書：

各時間に資料を配布する。参考書は、川勝義雄『魏晉南北朝』（講談社「講談社学術文庫」、2003 年）など。他は講義の中で紹介する。

10. 授業時間外学習：資料を精読して課題を作成する。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：東洋古代中世史特論Ⅱ／ Ancient and Medieval History in Asia(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期 金曜日 4講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：川合 安

コード：LM25404, 科目ナンバリング：LGH-HIS602J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：六朝貴族制の諸問題

2. Course Title (授業題目) : Issues of the Aristocratic System of the Six Dynasties Time

3. 授業の目的と概要：中国の六朝時代（魏晉南北朝時代、220～589）は、貴族が政治・社会を主導する体制—貴族制の時代として知られる。講義では、この時代の貴族制について分析し、その具体相を浮かび上がらせるを試みる。中国史における六朝時代の特質について理解を深めることを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : This course covers the aristocratic system of the Six Dynasties time (220-589) to help students understand the characteristics of the Six Dynasties time in Chinese history.

5. 学習の到達目標：六朝貴族制の具体相とその特質を理解し、興味をもった論点について論じることができるようになる。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : The purpose of this course is to help students discuss the characteristics of the aristocratic system of the Six Dynasties time.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

講義形式で行い、第2回目以降、毎回課題を課す。

- 1、序論（貴族、貴族制とは）
- 2、漢代の貴族
- 3、九品官人法と貴族制の形成
- 4、西晋の貴族制
- 5、東晋の貴族制
- 6、東晋貴族制の動揺
- 7、宋・齊時代の貴族制
- 8、宋・齊時代の名門貴族
- 9、宋・齊時代の新興貴族
- 10、北魏・孝文帝の貴族制導入
- 11、梁・武帝の貴族制改革
- 12、陳代の新傾向
- 13、東魏・北齊の貴族制
- 14、西魏・北周の新傾向
- 15、総括

8. 成績評価方法：

：第2回目以降毎回の課題によって評価する。

9. 教科書および参考書：

各時間に資料を配布する。参考書は、講義時間に紹介する。

10. 授業時間外学習：資料を精読して課題を作成する。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：東洋古代中世史特論Ⅲ／ Ancient and Medieval History in Asia(Advanced Lecture)Ⅲ

曜日・講時：後期集中 その他 連講

Semester：2 学期集中 単位数：2

担当教員：江川 式部

コード：LM98817, 科目ナンバリング：LGH-HIS603J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：中国中世の喪葬と礼制

2. Course Title (授業題目)：Mourning and Funeral rites of Medieval China

3. 授業の目的と概要：この授業では、中国の喪葬と礼制を学ぶことにより、人々の死生観や時代の特徴を歴史的に理解することを目的とする。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：This course is designed to help students learn Chinese funeral and ritual systems, and get to historically understand the characteristics of people's views on life and death.

5. 学習の到達目標：・中国における喪葬儀礼の歴史的展開について理解する。

・喪葬儀礼に用いられた各種の文物について理解する。

・喪葬儀礼の文化的背景について理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：・This course is designed to help students understand the historical development of mourning and funeral ceremonies in the historical world of China.

・Students learn about various cultural objects used in mourning and funeral ceremonies.

・Students learn about the cultural background of mourning and funeral ceremonies.

7. 授業の内容・方法と進捗予定：

本授業は講義方式で行う。

1. 導論①

2. 導論②

3. 先秦時代の喪葬と礼制

4. 秦・漢代の喪葬と礼制

5. 魏晋時代の喪葬と礼制

6. 南北朝時代の喪葬と礼制

7. 隋代の喪葬と礼制

8. 唐代の喪葬と礼制

9. 墓壁画と造像碑・塔銘

10. 墓誌と墓碑①

11. 墓誌と墓碑②

12. 上墓儀礼

13. 哀冊と諡冊

14. 喪葬と法制

15. まとめ

8. 成績評価方法：

小テスト (20%)、期末レポート (60%)、平常点 (20%)

9. 教科書および参考書：

・教科書は使用しません。

・授業時に資料を配布します。

・参考書は授業時に紹介いたします。

10. 授業時間外学習：予習・復習を行ってください。

11. 実務・実践的授業/Practical business

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note: "○" Indicates the practical business

《実務・実践的授業/Practical business》

12. その他：

科目名：東洋近世史特論 I / Early Modern History in Asia (Advanced Lecture) I

曜日・講時：前期 水曜日 4 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：岡 洋樹

コード：LM13406, 科目ナンバリング：LGH-HIS604J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：清朝の外藩モンゴル統治の諸問題

2. Course Title (授業題目) : The Qing's rule over Mongolia

3. 授業の目的と概要：清朝（大清国）は、中国最後の王朝であるが、最盛期におけるその支配下にはユーラシア内陸部の広大な空間が含まれた。とくにモンゴル高原から新疆北部に分布するモンゴル系遊牧民諸集団は、清朝の拡大過程で重要な役割を果たした。そもそも清朝自体が満蒙の王族と漢人諸侯による太宗ホンタイジ推戴を画期として成立したのであり、モンゴルはその国家構造の不可分の一部を構成した。1644 年の入関により中国本土支配の開始により、モンゴルは支配エリートたる八旗と内地諸省とともに新の統治カテゴリーの一つとしての「外藩」を構成した。「外藩」体制は、清代を通じて維持され、その最終的な消滅は、1920～30 年代のことである。それゆえ、清の国家構造の特徴である「外藩」は、近代の東北アジア史の「焦点」の一つであった。本講義では、近代をも視野に含めつつ、清朝統治における外藩部分の制度的・社会的特徴を概観しつつ、アジアにおける前近代帝国統治の意味を考察する。

4. Course Objectives and Course Synopsis (授業の目的と概要) : The territory of the Qing dynasty, the last of Chinese dynasties, covered broad space of Inner Eurasian region where various nomadic peoples lived. Especially the Mongolian nomads played important role in the Qing's advancement. The Qing itself was established by Manchu-Mongolian noble princes and Chinese warlords when they enthroned Taicong Huntaiji in 1636 and the former Mongolian polities were comprised in its ruling structure. As the result of the Qing's advancement into China proper in 1644, Mongolian princes were incorporated in the administrative structure called "Wai fan". The Wai fan regime was maintained until the collapse of the Qing's rule in 1912 and finally disappeared in 1920-30s. Accordingly the collapse of Wai fan regime became a pivot of political turbulence of Modern Northeast Asia. In this lecture The historical context of the Qing's rule over Mongolia is discussed from the viewpoints of administrative system and social structure and furthermore the general nature of the rule of multicultural pre-modern empire.

5. 学習の到達目標：清朝の国家統治が、その内陸アジア部分においていかなる制度的特徴と、歴史的な文脈を有するのかを学ぶことで、東北アジアの文化的多様性の歴史的淵源を理解する。

6. Learning Goals (学修の到達目標) : Students are required to understand about the historical origin of the cultural diversity of modern Northeast Asia through investigating the Qing's ruling structure and its historical context of Inner Asian history.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

オンライン授業（主としてリアルタイム型遠隔授業）

講義では、以下の論題について考察を行う。

1. 清朝のモンゴル統治カテゴリーとして「外藩」

清朝の国家構造は、皇帝とマンジュ諸王が率いる支配エリートとしての八旗、モンゴル諸王属下としての外藩、明の領域を継承した内地直省の三つの部分から構成されていた。ここでは、清の外藩の統治構造を制度的に概観する。

2. 外藩統治成立の歴史的経緯

清の統治カテゴリーとしての外藩は、17 世紀から 18 世紀にかけて漸次形成されたが、その統治要件の多くが北元期のモンゴルに由来するものであった。ここでは、清初から 17 世紀末までの満蒙関係を概観しつつ、北元期のモンゴル社会における統治のあり方が清の外藩へと取り込まれていく過程を検討する。

3. 清代モンゴルの社会構造

清の統治下におけるモンゴルの社会構造は、1950 年代末からモンゴル人民共和国の研究者によって、文書史料（档案）を用いて研究されてきた。その後モンゴル国や中国内モンゴルに残る膨大な文書史料が刊行され、当時モンゴルの社会構造が解明されつつある。ここでは、最新の研究成果を用いて、モンゴル遊牧民社会の特徴を論じる。

4. 「封禁政策」論の問題

清のモンゴル統治の特徴としてよく言及されるのが「封禁」と呼ばれる政策である。これは、内地直省と外藩の相互の人の往来を厳しく制限し、漢人とモンゴル人の分離統治をはかったとするものである。ここでは、近年の文書史料による研究成果を踏まえて、封禁政策の現実性について議論する。

5. 清朝のモンゴル統治の歴史的な文脈

清のモンゴル統治の歴史的な性格については、これまで様々な議論がなされてきた。ここでは、清の支配期のモンゴルを、モンゴル史の文脈に位置付けるとともに、清朝国家の歴史的な性格にも言及したい。

8. 成績評価方法：

出席と学期末に課するレポートにより評価する。

9. 教科書および参考書：

教科書は特に指定しない。参考文献は講義の中で適宜指示する。

10. 授業時間外学習：出席者は、毎回講師が指示する文献を読むことによって、講義に対する理解を深めること。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：東洋近世史特論Ⅱ／ Early Modern History in Asia(Advanced Lecture)Ⅱ

曜日・講時：後期集中 その他 連講

セメスター：2 学期集中 単位数：2

担当教員：水盛 涼一

コード：LM98818, 科目ナンバリング：LGH-HIS605J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：清末近現代中国の統治構造研究

2. Course Title (授業題目)：Historical Study of the Governing Structure in Late Qing, Modern and Contemporary China

3. 授業の目的と概要：本講義では、清朝（大清帝国）の後期から近代そして現代にいたる中国の統治構造について考察する。清朝は東アジアの諸王朝のなかでも特に広大な版図を得た。そして中華民国や中華人民共和国はこの清朝の領土をおよその基準として継承したため、民族構成や統治機構など各分野にその影響が残った。この清朝の姿について文教政策や官僚機構さらには徴税制度といった側面から概観し、加えて現代との比較を試み、近代中国の特徴を考察していく。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：In this lecture examine the governing structure of Chinese rule from the late Qing Dynasty (daicing gurun) to present-day. The Qing Dynasty was one of the most extensive of the East Asian dynasties, and the Republic of China and the People's Republic of China inherited its territory on an approximate basis, and its influence remains in various areas such as ethnic composition and governance structure. We will review the Qing Dynasty in terms of its educational policies, bureaucracy, and tax collection system, compare them with those of the present day, and observe Characteristics of Modern China.

5. 学習の到達目標：清朝の統治機構における制度的特徴と歴史的な脈を把握し、近代ひいては現代にいたる中国の行動原理の歴史的淵源を理解する。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：This course is designed to help students understand the institutional characteristics and historical context of the Qing dynasty's governing structure, and comprehend the historical origins of contemporary China's conduct.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業は講義を中心に進め、適宜歴史資料を読解する。

- 01) 導論(1) 清代・近代・現代の概観
- 02) 導論(2) 近代が歴史研究の対象となったとき
- 03) 清朝の中央と地方の官僚社会(1)
- 04) 清朝の中央と地方の官僚社会(2)
- 05) 清朝の中央と地方の官僚社会(3)
- 06) 清朝の中央と地方の官僚社会(4)
- 07) 集団行動と盲流そして反乱(1)
- 08) 集団行動と盲流そして反乱(2)
- 09) 集団行動と盲流そして反乱(3)
- 10) 集団行動と盲流そして反乱(4)
- 11) 文教政策と言論空間(1)
- 12) 文教政策と言論空間(2)
- 13) 文教政策と言論空間(3)
- 14) 文教政策と言論空間(4)
- 15) 総合討論

8. 成績評価方法：

平常点 (30%)、3 回のミニツレポート(10%+10%+10%)、期末レポート (40%)

9. 教科書および参考書：

各時間に適宜資料を配布する。

Readings will be distributed for each class.

10. 授業時間外学習：受講者は講義で紹介する参考文献を次回講義までに通読しておくことが望ましい。

Students are required to read the reference books presented in the lectures before the next lecture.

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：

科目名：東洋史学研究演習 I / History in Asia(Advanced Seminar)I

曜日・講時：前期 水曜日 5 講時

セメスター：1 学期 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LM13501, 科目ナンバリング：LGH-HIS609J, 使用言語：日本語

【平成 30 年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明清官僚制度研究 I

2. Course Title (授業題目) : Studies of Bureaucracy in the Ming, Qing Dynasty

3. 授業の目的と概要：明清時代の漢文史料を精読することを通して、中国近世の政治制度、官僚制度に関する基礎知識を習得し、同時に自分で課題探究をするために必須となる文書読解の訓練を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要) : Students will read carefully the historical documents of the Ming Qing period and develop basic reading skills crucial to understanding historical texts used in academic research. Moreover, Students will learn basic methods to study political institutions, bureaucracy and so on in Early Modern China.

5. 学習の到達目標：中国明清時代の一次史料読解を通じて、政治制度、官僚制度研究に必須となる公文書の基本形式に慣れると同時に、当時の官僚制と社会について分析を加える。特に各回の担当者を決めず、全員が毎回発表する（日本語訳でも訓読でもかまわない）。

6. Learning Goals(学修の到達目標) : Through the reading of the primary historical materials of Ming Qing China, students will accustom to the basic form of the official document which is essential for analyzing the bureaucracy and society at the time. All students will give a presentation in every class by Japanese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー
2. 明清官僚制度研究 I ー (1)
3. 明清官僚制度研究 I ー (2)
4. 明清官僚制度研究 I ー (3)
5. 明清官僚制度研究 I ー (4)
6. 明清官僚制度研究 I ー (5)
7. 明清官僚制度研究 I ー (6)
8. 明清官僚制度研究 I ー (7)
9. 明清官僚制度研究 I ー (8)
10. 明清官僚制度研究 I ー (9)
11. 明清官僚制度研究 I ー (10)
12. 明清官僚制度研究 I ー (11)
13. 明清官僚制度研究 I ー (12)
14. 明清官僚制度研究 I ー (13)
15. 明清官僚制度研究 I ー (14) 及びまとめ

8. 成績評価方法：

発表内容（平常点）。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、テキストを日本語訳し、内容について調べて授業にのぞむ必要がある。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：



科目名：東洋史学研究演習Ⅱ／History in Asia(Advanced Seminar)Ⅱ

曜日・講時：後期 水曜日 5講時

セメスター：2学期 単位数：2

担当教員：大野 晃嗣

コード：LM23502, 科目ナンバリング：LGH-HIS610J, 使用言語：日本語

【平成30年度以前入学者読替先科目名：】

1. 授業題目：明清官僚制度研究Ⅱ

2. Course Title (授業題目)：Studies of Bureaucracy in the Ming, Qing Dynasty

3. 授業の目的と概要：明清時代の漢文史料を精読することを通して、中国近世の政治制度、官僚制度に関する基礎知識を習得し、同時に自分で課題探究をするために必須となる文書読解の訓練を行う。

4. Course Objectives and Course Synopsis(授業の目的と概要)：Students will read carefully the historical documents of the Ming Qing period and develop basic reading skills crucial to understanding historical texts used in academic research. Moreover, students will learn basic methods to study political institutions, bureaucracy and so on in Early Modern China.

5. 学習の到達目標：1学期に引き続き、中国明清時代の一次史料読解を通じて、政治制度、官僚制度研究に必須となる公文書の基本形式に慣れると同時に、当時の官僚制と社会について分析を加える。特に各回の担当者を決めず、全員が毎回発表する(日本語訳でも訓読でもかまわない)。

6. Learning Goals(学修の到達目標)：In the second semester, following the first semester, through the reading of the primary historical materials of Ming Qing China, students will accustom to the basic form of the official document which is essential for analyzing the bureaucracy and society at the time. All students will give a presentation in every class by Japanese.

7. 授業の内容・方法と進度予定：

本授業はオンラインと対面のハイブリッドによって行う。

1. ガイダンスー史料の背景と工具書ー

2. 明清官僚制度研究Ⅱー(1)

3. 明清官僚制度研究Ⅱー(2)

4. 明清官僚制度研究Ⅱー(3)

5. 明清官僚制度研究Ⅱー(4)

6. 明清官僚制度研究Ⅱー(5)

7. 明清官僚制度研究Ⅱー(6)

8. 明清官僚制度研究Ⅱー(7)

9. 明清官僚制度研究Ⅱー(8)

10. 明清官僚制度研究Ⅱー(9)

11. 明清官僚制度研究Ⅱー(10)

12. 明清官僚制度研究Ⅱー(11)

13. 明清官僚制度研究Ⅱー(12)

14. 明清官僚制度研究Ⅱー(13)

15. 明清官僚制度研究Ⅱー(14)及びまとめ

8. 成績評価方法：

発表内容(平常点)。

9. 教科書および参考書：

プリント配布。参考文献は授業中に随時指示する。

10. 授業時間外学習：毎回、テキストを日本語訳し、内容について調べて授業にのぞむ必要がある。

11. 実務・実践的授業/Practicalbusiness

※○は、実務・実践的授業であることを示す。/Note:"○"Indicatesthe practicalbusiness

《実務・実践的授業/Practicalbusiness》

12. その他：